平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場会社名　　明星工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　　1976　　ＵＲＬ　http://www.meisei-kogyo.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）大谷 壽輝
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員財務部長　　（氏名）印田 博　　ＴＥＬ　06-6447-0275

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月12日　　配当支払開始予定日　平成24年11月22日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	18,407	18.8	913	308.7	902	－	712	－
24年３月期第２四半期	15,499	△2.9	223	△81.7	76	△93.2	△23	－

（注）包括利益　　25年３月期第２四半期　　733百万円　（－%）　　24年３月期第２四半期　　△77百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	12.58	－
24年３月期第２四半期	△0.41	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第２四半期	44,578	29,182	65.0	513.76
24年３月期	44,875	28,660	63.5	503.05

（参考）自己資本　　25年３月期第２四半期　　28,996百万円　　24年３月期　　28,493百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	3.00	－	3.00	6.00
25年３月期	－	3.00			
25年３月期（予想）			－	3.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	4.9	2,100	21.7	2,050	10.1	1,380	△34.8	24.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　ー社　（社名）ー、除外　ー社　（社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	63,386,718株	24年３月期	63,386,718株
② 期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	6,946,478株	24年３月期	6,745,447株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	56,626,662株	24年３月期２Ｑ	56,643,428株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（四半期連結損益計算書） …… 6
（四半期連結包括利益計算書） …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 9
４．補足情報 …… 10
（１）受注及び売上の状況 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかな回復基調にあるものの、欧州の債務危機問題、中国経済の成長鈍化等による世界的な経済減速が懸念されており、また、長引く円高の影響、原発・エネルギー政策の動向等もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、国内外の需要分野において積極的な営業活動を展開いたしましたが、当第２四半期連結累計期間の受注高は、建設工事事業においては断熱工事分野等の新規受注が前年同期と比べ減少し、ボイラ事業においては新規受注が増加したものの、全体では17,355百万円（前年同期比1.3%減）の計上にとどまりました。売上高は、建設工事事業における国内及び海外の断熱工事案件の進捗が順調であり、18,407百万円（同18.8%増）の計上となりました。

また、売上高が増加したことに加え、営業費用の抑制効果も伴い、営業利益は913百万円（同308.7%増）、経常利益は902百万円（前年同期は76百万円の経常利益）、四半期純利益は712百万円（同23百万円の四半期純損失）の計上となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設工事事業

主に国内・海外の断熱工事等の工事進捗、引渡しの増加により売上高は16,626百万円（前年同期比22.1%増）の計上となりました。また、売上高の増加によりセグメント利益は871百万円（前年同期比445.1%増）の計上となりました。

②ボイラ事業

国内外の新缶等受注案件について進捗、引渡しが堅調に推移したものの、売上高は1,780百万円（前年同期比5.2%減）の計上にとどまりました。また、売上高の減少によりセグメント利益は18百万円（前年同期比55.6%減）の計上にとどまりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は27,013百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円減少いたしました。主な要因は未成工事支出金の増加1,361百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少1,587百万円、現金預金の減少575百万円（自己株式の取得による減少を含む）等であります。

固定資産は17,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。主な要因は有形固定資産の増加76百万円、繰延税金資産の増加25百万円、投資有価証券の減少234百万円等であります。

この結果、資産合計は44,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は10,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ996百万円減少いたしました。主な要因は支払手形・工事未払金等の減少567百万円、短期借入金の減少565百万円等であります。

固定負債は5,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ177百万円増加いたしました。主な要因は長期借入金の増加275百万円、役員退職給与引当金の減少63百万円、退職給付引当金の減少12百万円等であります。

この結果、負債合計は15,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ819百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は29,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ521百万円増加いたしました。主な要因は四半期純利益の計上による増加712百万円、剰余金の配当による減少169百万円等であります。

この結果、自己資本比率は65.0%（前連結会計年度末は63.5%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界的な景気減速懸念、円高の長期化等により景気の先行きに不透明感が増す中で、当社の事業を取り巻く環境は、需要分野における設備の維持更新、クリーンエネルギー資源として需要が高まるＬＮＧ関連分野の建設・拡張投資の活発化等が期待されますが、企業のグローバル化が進む中、国内設備投資の減少や熾烈な価格競争等により、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

当社はこのような状況の下、国内外において積極的な営業展開に注力するとともに、経営基盤の強化を図り、収益向上を目指してまいります。

平成25年３月期の業績予想につきましては、当第２四半期連結累計期間の業績及び上記今後の見通しを勘案した結果、平成24年５月11日付「平成24年３月期　決算短信」において発表いたしました数値を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	38,000	1,900	1,850	1,250	22　07
今回修正予想（Ｂ）	39,000	2,100	2,050	1,380	24　41
増減額（Ｂ－Ａ）	1,000	200	200	130	－
増減率（％）	2.6	10.5	10.8	10.4	－
前期実績	37,178	1,726	1,861	2,116	37　36

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,886	8,311
受取手形・完成工事未収入金等	15,837	14,250
未成工事支出金	1,425	2,786
商品及び製品	309	319
原材料及び貯蔵品	181	175
繰延税金資産	418	414
その他	292	769
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	27,335	27,013
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,074	8,179
機械・運搬具	4,129	4,133
土地	11,375	11,375
その他	1,126	1,243
減価償却累計額	△10,149	△10,298
有形固定資産合計	14,556	14,633
無形固定資産	28	27
投資その他の資産		
投資有価証券	2,367	2,132
繰延税金資産	244	270
その他	396	550
貸倒引当金	△53	△51
投資その他の資産合計	2,955	2,903
固定資産合計	17,540	17,564
資産合計	44,875	44,578

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,468	4,901
支払信託	581	647
買掛金	408	451
短期借入金	1,975	1,410
未払法人税等	220	131
未成工事受入金	808	580
完成工事補償引当金	145	154
賞与引当金	283	283
役員賞与引当金	36	－
工事損失引当金	91	61
その他	1,053	1,453
流動負債合計	11,073	10,076
固定負債		
長期借入金	775	1,050
退職給付引当金	1,039	1,027
役員退職慰労引当金	345	282
繰延税金負債	2,081	2,080
再評価に係る繰延税金負債	562	562
資産除去債務	23	23
その他	314	294
固定負債合計	5,142	5,319
負債合計	16,215	15,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	999	999
利益剰余金	20,915	21,458
自己株式	△1,745	△1,789
株主資本合計	27,059	27,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	410
土地再評価差額金	879	879
為替換算調整勘定	83	148
その他の包括利益累計額合計	1,434	1,439
新株予約権	34	36
少数株主持分	132	148
純資産合計	28,660	29,182
負債純資産合計	44,875	44,578

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
完成工事高	15,499	18,407
完成工事原価	13,285	15,614
完成工事総利益	2,214	2,793
販売費及び一般管理費	1,990	1,879
営業利益	223	913
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	34	36
不動産賃貸料	62	62
その他	47	46
営業外収益合計	154	154
営業外費用		
支払利息	18	11
為替差損	193	111
不動産賃貸原価	30	28
その他	59	13
営業外費用合計	301	165
経常利益	76	902
特別損失		
投資有価証券評価損	4	50
特別損失合計	4	50
税金等調整前四半期純利益	71	851
法人税、住民税及び事業税	56	116
法人税等調整額	102	6
法人税等合計	158	122
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△86	728
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△63	16
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△23	712

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△86	728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	△60
繰延ヘッジ損益	△0	－
為替換算調整勘定	97	65
その他の包括利益合計	8	5
四半期包括利益	△77	733
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13	717
少数株主に係る四半期包括利益	△64	16

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	71	851
減価償却費	184	161
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	△4
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△138	△29
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△13	△12
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△1	△63
その他の引当金の増減額（△は減少）	△28	△27
受取利息及び受取配当金	△44	△45
支払利息	18	11
為替差損益（△は益）	99	72
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	4	50
売上債権の増減額（△は増加）	△1,066	1,587
未成工事支出金の増減額（△は増加）	△1,459	△1,361
たな卸資産の増減額（△は増加）	△42	△4
未成工事受入金の増減額（△は減少）	419	△228
仕入債務の増減額（△は減少）	1,305	△452
その他	390	503
小計	△309	1,010
利息及び配当金の受取額	40	44
利息の支払額	△21	△10
法人税等の支払額	△141	△187
営業活動によるキャッシュ・フロー	△432	856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△149	△1,215
定期預金の払戻による収入	446	1,137
投資有価証券の取得による支出	△104	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	201	100
有形固定資産の取得による支出	△111	△274
その他	△33	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	248	△311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	825	△615
長期借入れによる収入	500	800
長期借入金の返済による支出	△1,333	△475
自己株式の取得による支出	△0	△44
自己株式取得のための金銭の信託の増減額（△は増加）	―	△576
配当金の支払額	△171	△170
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180	△1,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△17
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△380	△553
現金及び現金同等物の期首残高	9,260	8,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,880	7,574

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
(セグメント情報)
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	建設工事事業	ボイラ事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	13,619	1,879	15,499	－	15,499
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	37	78	116	(116)	－
計	13,657	1,958	15,615	(116)	15,499
セグメント利益	159	42	202	20	223

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	建設工事事業	ボイラ事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	16,626	1,780	18,407	－	18,407
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	63	66	(66)	－
計	16,629	1,844	18,474	(66)	18,407
セグメント利益	871	18	890	23	913

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。

４．補足情報

（１）受注及び売上の状況

a.受注高

区　分	平成24年３月期 第２四半期		平成25年３月期 第２四半期		対前年同期 増減	平成24年３月期	
	金額（百万円）	%	金額（百万円）	%	金額（百万円）	金額（百万円）	%
建設工事事業	15,202	86.4	14,767	85.1	△435	34,991	90.3
ボイラ事業	2,388	13.6	2,588	14.9	199	3,763	9.7
合　計	17,591	100.0	17,355	100.0	△235	38,755	100.0

b.売上高

区　分	平成24年３月期 第２四半期		平成25年３月期 第２四半期		対前年同期 増減	平成24年３月期	
	金額（百万円）	%	金額（百万円）	%	金額（百万円）	金額（百万円）	%
建設工事事業	13,619	87.9	16,626	90.3	3,006	32,035	86.2
ボイラ事業	1,879	12.1	1,780	9.7	△98	5,143	13.8
合　計	15,499	100.0	18,407	100.0	2,908	37,178	100.0